

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	697	中山間地域等直接支払交付金事業	会計	01	一般会計
基本施策	42	持続的で個性的な農林業を实践する	款	06	農林業費
			項	01	農業費
			目	03	農業振興費
担当部課名		大山田産業建設課	細目	108	中山間地域等直接支払交付金事業
作成者氏名	廣田 稔	連絡先 47-1157	細々目	01	中山間地域等直接支払交付金事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
農地の多面的機能の維持確保を図る 急傾斜地の農地		農地の荒廃化を防ぎ、多面的機能が維持される
本年度事業内容	中山間地域等直接支払交付金 5集落 3,967千円	
開始年度	平成 12 年度	終了年度 平成 21 年度
	根拠法令・要綱等 中山間地域等直接支払交付金実施要綱(国制定)	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	4,047	4,047	4,047
	委託料			
	補助金	3,967	3,967	3,967
	その他	80	80	80
合計(A+B)		4,767	4,767	4,767
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	3,014	3,014	
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
一般財源	1,753	1,753	4,767	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
多面的機能の確保された農地面積	a	1,922	1,904	2,200			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
多面的機能の確保	大山田地域全体が中山間地域等直接支払い制度対象区域なので対象集落を増やす	集落	5 目標 (5)	5	6
制度対象集落の割合	分子 対象集落 13 分母 集落数 22	%	23 目標 (59)	23	27

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

平成16年度事業までは13地区でこの事業に取り組んでまいりましたが、平成17年度から、事業内容が多少変わり、補助の申請集落数が5集落に減少したが、各集落における取り組み内容、交付金の使途等については問題点がないが、減少した集落については、交付金の使途について集落営農へのつながりが出来ないため補助の申請が出来ない集落が多少あり、できれば集落営農推進のために集落との協議を進め集落協定を進める。

今後

評価	必要性	4	拡大 事業実施は国の制度による	総合評価
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	4		
				A